

アジア史専攻 2019 年度卒論中間報告会のお知らせ

2019. 10. 29 アジア史研究室

下記の要領で、毎年恒例のアジア史専攻卒論中間報告会をおこないます。各ゼミから1名ずつ卒論の概要について発表するので、4年生はもちろん、3年生も授業がある人以外は全員出席し、今後の参考にしてください。2年生の出席も歓迎します。

記

日時：2019年11月11日（月） 9：00～10：40

会場：駿河台キャンパス リバティタワー1113教室

プログラム

① 卒論中間報告

小林菜穂子「アテン信仰の政治的戦略とその普遍性について

—アテン信仰はどこまで世界宗教としての可能性を秘めていたのか—

鏑水 彰太「沈黙の天主教に対する認識の一考察（仮）」

尾木和佳奈「中国における小麦粉の主食化（仮）」

石川 知佳「近世東南アジアにおける日本文化流通

—ホイアンの日本人町の分析から—（仮）」

王 潤川「中華人民共和国空軍の初期段階の発展—主に朝鮮戦争を中心に—」

② 卒論執筆要項(最終版)説明

報告者持ち時間は、**発表12分+質疑応答3分**の計15分(時間厳守)。
レジュメは報告者が各自80部を用意すること(教材用印刷機も使えるので、準備については指導教員と相談すること)。パワーポイントを使用する場合は、事前に知らせてください。

以上